

後置詞

ヒンディー語の後置詞には以下のものがあります。後置詞が後続する場合、名詞およびその名詞を修飾する形容詞なども斜格をとります。

- ① को : 他動詞の直接目的語・間接目的語に後続するほか、行為・状態の影響・結果が及ぶ対象を示します。「～を、～に、～は」など。

में आपको एक किताब देता हूँ। 私はあなたに本を1冊差し上げます。
इस लड़के को देखो। この男の子を見なさい。
उसको दर्द हो रहा है। 彼女は痛がっている。
मुझको बड़ा दुःख हुआ। 私はとても悲しかった。
आखिर तुझे हुआ क्या है? いったい君はどうしたんだ?
सबको तैरना आता है। みんな泳げます。
रात को बारिश होगी। 夜、雨が降るでしょう。

- ② में : 場所を示します。「～に、～で、～の中に」など。

कमरे में 部屋の中に、部屋で
दिल में 心の中に、心中
मेज़ की दराज़ में चाबियाँ रखी हैं। 机の引き出しの中に鍵が入れてあります。

- ③ पर : 場所を示します。「～に、～で、～の上に」など。

घर की छत पर 家の屋上に、屋根の上に
दीवारों पर तस्वीरें टंगी हुई हैं। 壁に絵が掛っている。
उसे पीठ पर चोट लगी थी। 彼女は背中に怪我をした。
मेरी मेज़ पर किसकी किताबें रखी हैं? ぼくの机(の上)に誰の本が置いてありますか?

- ④ से : 出発点、原因、目的語などを示します。「～から、～によって、～に」など。

घर से कालेज तक 家から大学まで
किस तरीके से どのような方法で
बहुत बारिश होने से 雨がたくさん降ったので
मुझसे कोई बात नहीं करता। 誰も私に話をしてくれない。
सरकार से यह योजना बनाई गई है। 政府によってこの計画が立案された。
मीनाक्षी से सरिता ज़्यादा लंबी और सुंदर भी है। मीनाक्षीよりもサリターの方が背も高いし、美しい。

- ⑤ तक : 到達点を示します。「～まで」など。

दिल्ली से आगरा तक 德里ーからアグラまで

- ⑥ का/के/की : 所有格を表す。日本語の「の」とほぼ同じです。ただし、後続する名詞の性・数・格に応じて変化します。काは、男性・単数・直格形の名詞に先行し、केはそれ以外の種別の男性名詞に先行します。कीは、全ての種別の女性名詞に先行します。(代名詞の所有格については、代名詞の項をご覧ください)

उसकी माँ का नाम 彼女の母親の名前
लड़कियों की उँगलियाँ 少女たちの指
आपके भाइयों के खेतों को あなたの兄弟たちの畑を
हमारा देश भारत है। 私たちの国はインドです。
क्या यह रूमाल तुम्हारा है? このハンカチは君のですか?
यह मेरा अपना थैला है, तुम्हारा नहीं। これはぼくのかばんだ、おまえのものじゃない。
वह राजस्थान के पुराने गाँव का रहने वाला है। 彼はラージャスターンの古い村の出身です。

- ⑦ ने : 能格を示します。すなわち、他動詞の完了分詞が用いられる文中で、完了分詞の行為主体(意味上の主語)に後続します。「～が、～は」など。

क्या आपने जंगल में बंदरों को देखा है ? あなたは森でサルを見たのですか?
उसने मुझे सौ रुपये दिये थे। 彼は私に100ルピーくれました。
तेज़ हवा ने सब कुछ तहस-नहस कर दिया। 強風が何もかも台無しにしまった。
उन्होंने अब तक कई किताबें लिखी हैं। あの方は何冊も本を書いています。